

平成 28 年度 社会福祉法人福寿会事業報告書

1. 事業名 軽費老人ホーム ケアハウスびえい

・月別利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
41	42	40	42	42	40	39	39	39	39	40	41

平成 28 年度のケアハウス年間利用者数は前年比－10 名の 484 名、年間異動者数としては入居者 10 名、退居 10 名となりました。退居理由としては、他の施設 5 名、家庭復帰 1 名、病院 1 名、死亡 3 名でした。平成 28 年度は他の施設に移られる方が多く、主な理由として「家族の近くの施設へ」でした。今後として多くの人に利用して頂くには、施設のイメージを内外とも向上させる努力がさらに必要になると感じられます。

2. 行事・サービス

4月	料理教室 買物送迎 お茶会 創作教室	10月	買物送迎 紅葉狩り 創作教室 料理教室
5月	お花見 買物送迎 創作教室 料理教室	11月	買物送迎 お茶会 料理教室 創作教室
6月	野外食 料理教室 買物送迎 創作教室	12月	料理教室 創作教室 買物送迎 クリスマス会
7月	料理教室 買物送迎 野外食 創作教室 美瑛神社神輿渡御 選挙送迎	1月	買物送迎 創作教室 餅つき お茶会
8月	七夕飾付 料理教室 買物送迎 創作教室	2月	節分 料理教室 創作教室 買物送迎
9月	買物送迎 敬老会 結核検診 創作教室 料理教室 町内敬老会送迎	3月	ひな祭り 買物送迎 創作教室 料理教室

創作教室は、こいのぼり、七夕飾り、クリスマス飾り、貼り絵、干支の飾り物、袴、袴 2、ひな飾りなど 12 回。料理教室は、いも料理、おしるこ、ポテトチュロス、冷やし汁粉、フレンチトースト、パンケーキ、クレープ、ポテトチップス作りなど 12 回。お茶会ではココアや甘酒、お菓子、カラオケを用意して参加して頂いています。外出行事として買物送迎（東神楽ベストム）毎月年 12 回、お花見（旭山公園）、紅葉狩り（大雪白金方面）、美瑛町の催し物・イベント等の送迎 2 回、参議院選挙の送迎を行いました。

その他に、毎日のラジオ体操やカラオケ教室、毎週土曜日に移動売店、週 1 回の移動パン屋、週 1 回のクリーニング屋訪問、訪問理美容の受け付けを行なっています。

(2) 通院送迎・介助

町内医療関係施設 98 日	町外 46 日	付添いが必要な方（町外含め）14 名
---------------	---------	--------------------

入居者が継続的な治療頓服を受けてもらい、健康で生活して頂けるように通院送迎・付添い介助を無料で行なっています。町外 46 日内訳（圭泉会病院、18 日、日赤病院 8 日、旭川医大 9 日、旭川市立 4 日、くにもと病院 2 日、北彩都病院 5 日、）

町内医療関係施設は 119 日から 98 日に減少、町外 55 日から 46 日に減少、付き添いが必要な方 17 名から 14 名になり減少した。入居者数の減少に伴い全体的に減少した。

(3) 介護

要介護認定者（3/31 現在）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
2 名	4 名	4 名	3 名	2 名	1 名	0 名

介護保険外部サービス利用者（3/31 現在）

訪問介護	9 名	訪問リハビリ	1 名
通所リハビリ	5 名	訪問看護	0 名
通所介護	3 名		
福祉用具レンタル	11 名		

施設内サービス（3/31 現在）

トイレ介助	2 名
薬の管理	15 名
掃除・洗濯	2 名
買物代行	8 名
食事の見守り	0 名
通院付添い	14 名
福祉用具貸出	3 名

介護保険サービスでは補えない部分を施設内サービスにより生活を維持し快適に過ごして頂けるように努力しています。（施設内サービスや通院に関するサービス、洗濯機乾燥機の利用なども無料）

前年の増加減少として、トイレ介助 4 名から 2 名、クスリ管理 14 名から 15 名、買物代行 10 名から 8 名、食事の見守り 0 名から 0 名、通院付添 13 名から 14 名、福祉用具貸出 4 名から 3 名。血圧測定で毎日事務所へ来られる方は 4 名ほどおられて対応しています。

身体・生活介助はある程度補えますが、介護ベッド、歩行器、手すりなど福祉用具が必要な場合がありますので、今後、当施設でもある程度揃えることも必要かと思えます。

2 理事・評議員会

理事会・評議員会開催日

日付	内容
5月18日	平成27年度事業・決算報告、給与規定変更、平成28年度予算（補正）、監事監査報告
12月20日	定款変更、評議員選任解任委員会運営細則、第2次補正予算、監事監査報告
3月23日	第3次補正予算、未収不能金処理、平成29年度事業計画・予算（案）、評議員選任解任委員会細則変更及び選任、理事長決裁規則修正、監事監査報告

3 研修

日付	研修名	参加者
5月9日	道北地区老人福祉施設協議会 定期総会	福原（輝）
10月18日	美瑛町キャラバンメイト認知症研修会	福原（輝）
10月25日	美瑛町防火管理・危険物安全協会合同視察研修	小田島
11月4日	道北地区老人福祉施設協議会 施設長研修会	福原（輝）
1月19日	地域ケア研修（難病患者について）	小田島
3月17日	補助金に関する説明会	小田島
8/17、1/19	地域ケア会議、	小田島

4 総評・課題

今年度も利用者数は前年比－10名、平成23年度をピークに減少している。事業活動内訳では、サービス活動増減の部、収益72,208,325円（前年75,037,397円）、費用70,843,889円（前年74,514,887円）、増減差額1,364,436円（前年602,510円）。サービス活動外増減の部、収益108,008円（272,500円）、費用872,000円（前年1,090,000円）、増減差額－545,488円（前年－704,745円）。特別増減の部、収益0円（前年0円）、費用0円（前年0円）、増減差額0円（前年0円）。当期活動増減差額、本部396,842円（前年－497,621円）、施設422,106円（前年395,386円）、合計818,948円（前年－102,235円）と本部・施設会計共にプラスとなる。今年度のプラスになる要因は人件費で、前年度29,646,663円から今年度26,921,950円、差額2,724,713円の減少によるところと考えます。

経営の安定には新規利用者の確保が必要であり、安心して過ごせる良い雰囲気な施設として周知されるよう今以上に取組むこと、入居したいが支払（自身で使えるお金が少なくなる）が不安との声について、どのように対応するか今後の課題です。